



たくさんの野菜を収穫



5月から始まった農業体験学習。10月12日に行われた最後の体験学習では、4月に定植した白神ねぎと6月に定植したサツマイモとカボチャの収穫を行いました。

この日は、小雨の降るあいにくの天気でしたが、児童らは元気に作業に取り組み、サツマイモを掘り出すと「顔より大きいのが採れた!」、「いっぱいサツマイモがついている!」と大きな歓声が上がりました。

また、白神ねぎの収穫では1人5本を掘り取り、太いのを選んで抜く児童、勢い余って尻もちをつく児童がいるなど、歓声や笑い声の絶えない収穫作業となりました。

作業後には、採れたのサツマイモを焼き芋にして食べ、児童からは「ホクホクしておいしい。もっと食べたい」などの声があがるなど、自分たちが植え、収穫した秋の味覚を楽しんでいました。佐々木部長は「今回の体験で農業の楽しさ、大変さを知ってくれたと思う。ごはんも野菜も残さず食べて大きく育ててもらいたい」と児童らに話しました。

今回の農業体験学習をまとめた活動記録は、種苗交換会の学校農園展に出され、審査員特別賞に入賞しました。

→白神ねぎを収穫してニッコリ



→尻もちをつく児童



白神のふるさとまつりへ参加

藤里町の文化と収穫を楽しむ、2018町民祭「白神のふるさとまつり」が10月27日と28日の2日間にわたって開かれ、多くの来場者で大盛況となりました。

女性部藤里支部では、新米料理の無料配布を行い「五目ご飯」と「かぼちゃのスープ」を約250食用意し、来場者に提供しました。材料はすべて藤里産を使用し、前日から女性部員らが手分けを



←提供が始まると長蛇の列ができました

して準備し、仕込み作業を行いました。

会場では新米の甘い香りとかぼちゃの匂いに誘われて、女性部コーナーの前には行列ができ、用意した料理は1時間程度でなくなりました。また、自給運動の一環として菜園コンクールも開かれ、女性部員らが栽培したニンジンが展示されました。最優秀賞や優秀賞をはじめ、「面白い形で賞」や「健康で賞」などユニークなものもあり、多くの人が足を止めて見ていました。

→100本以上出展されました

